



2022年5月11日

報道関係各位

「第19回 企業フィランソロピー大賞」贈呈式の件

公益社団法人日本フィランソロピー協会（東京都千代田区／会長：浅野史郎、理事長：高橋陽子）は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から延期していた「第19回企業フィランソロピー大賞」贈呈式を開催いたしますのでお知らせいたします。

本賞は、社会の課題解決のために自社の経営資源（人材・ノウハウ・技術・情報など）を有機的・持続的に活用した社会貢献活動を顕彰するものです。SDGs達成が不可欠な課題となっている今日、そうした企業を広く社会に発信することにより、公正で温もりと活力ある社会を次世代に伝えることを目的として2003年に創設しました。第19回の贈呈先企業は昨年末下記の通り発表し、2月に予定しておりました贈呈式を、延期日程としてお知らせしていた5月16日（月）に下記の通り開催いたします。

★企業フィランソロピー大賞

サラヤ株式会社（大阪市）

★企業フィランソロピー賞

【ソーシャルプリンティング賞】 株式会社大川印刷（横浜市）

【おなか一杯幸せ賞】 ^{さいかい}西海みずき信用組合（長崎県佐世保市）

【種まきセンチュリー賞】 住友商事株式会社（東京都千代田区）

【絵本は心の薬賞】 日本新薬株式会社（京都市）

【未来をひらく女性賞】 メットライフ生命保険株式会社（東京都千代田区）

※組織名 50音順

<贈呈式> 日時：2022年5月16日（月）15時より
会場：学士会館 320号室（東京都千代田区神田錦町3-28）

<詳細> <https://www.philanthropy.or.jp/award/19/>

【選考のポイント】

- ① 革新性：固定観念や既存概念にとらわれず、先駆的に行動し新たな社会価値を創造している。
- ② 継続性：一過性に終わることなく、真摯に活動を継続している。
- ③ 波及性：従業員はじめステークホルダーの参画、他企業や他セクターとの連携など社内外への広がりがみられる。
- ④ 経営との関連性：経営陣の関与・経営理念との関連性が明確である。
- ⑤ 経営資源の活用：事業活動により培われた経営資源（人材・ノウハウ・技術・情報など）を活用している。

【選考委員】（敬称略）

委員長 國部 克彦 神戸大学大学院経営学研究科長・経営学部長
井手 明子 東北電力株式会社 社外取締役、住友商事株式会社 社外取締役
佐藤 雄二郎 株式会社共同通信社 顧問
渋澤 健 コモンズ投信株式会社 取締役会長

*井手委員は住友商事株式会社の選考には参加していません

【公益社団法人日本フィランソロピー協会（JPA）について】

1963年設立、1991年よりフィランソロピーの推進事業を開始。2009年に公益社団法人としての認定を受ける。企業のSDGs・サステナビリティ担当者を対象とした定例セミナー開催や機関誌『フィランソロピー』の出版をはじめ、企業の社会貢献を中心としたSDGs達成に向けた企画開発・運営を担う。企業とNPO、行政間のコーディネーターとして企業や、従業員など個人の社会参加を推進し、誰もが大切にされ、そして役割のある、公正で活力ある心豊かな社会の実現を目指す。会員企業は126社（2022年4月30日現在）。ホームページ：<https://www.philanthropy.or.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

公益社団法人日本フィランソロピー協会 企業フィランソロピー大賞事務局：牛尾和弘（うしお かずひろ）
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル244
TEL 03-5205-7580 FAX 03-5205-7585 <https://www.philanthropy.or.jp/>